

WG 活動報告

1:急性骨髄性白血病(AML)【小児】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 工藤 寿子	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
多賀 崇	滋賀医科大学附属病院	小児科
富澤 大輔	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
田淵 健	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
石田 宏之	パナソニック健康保険組合・松下記念病院	小児科
坂口 大俊	名古屋大学医学部附属病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
足立 壮一	京都大学医学部附属病院	小児科
渡邊 修大	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科

② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator
小児 AML に対する自家移植の解析	坂口 大俊

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2010/11/22	名古屋医療センター	WG 責任者説明会の報告と今後の方針について
2011/1/29	東京医科歯科大学	TRUMP のデータ操作について(田淵先生)、研究概要書再提出について

④ WG の今後の活動方針・抱負など

小児急性骨髄性白血病(AML)の治療成績向上には化学療法の進歩とともに造血幹細胞移植医療は重要な役割を果たしてきました。本 WG では移植前処置別による解析、非寛解期移植、再移植の意義、ダウン症候群合併例の移植成績、自家移植の解析などを全国規模の移植データベースを用い、後方視的に解析することによって、本邦において小児 AML に対して行われた移植の基盤となるデータ作りを目標とします。これにより移植医療を含めた小児 AML 治療方針の標準化に向けて貢献できると考えます。